

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対して適切な基本訓練室である。利用者 多人数日は活動室内の机、いす等の配置調整を する。 夏休み、イベント、和太鼓教室時は地域公会堂 で活動している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基本とした人数に加えて常時3人体制とし、多人数の曜日、イベント時には適宜増員して対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		活動ルーム入口、トイレ等に手すり等付帯設備をしているが、完全とはいえないため、新年度に伴いさらに必要な改善を検討している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日の活動の振り返りを行い、記録し支援員が共有している。随時ミーティングをするとともに、適宜発言を聞き取り改善策を講じ、職員に周知している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケート調査を実施し、日頃の保護者との連絡を密にとり、課題や意向を取り入れ業務改善を図っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。保護者向けのアンケート結果はナイスディニュースでもお知らせする。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	法人全体では受けている。事業所として受ける方向で検討している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員研修の制度化により、支援の向上研修の参加、資格取得の為の研修参加、強度行動障害等の研修に積極的に参加している。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			学校や相談支援事業所、保護者と連携を図りながら、アセスメントを行ったうえでサービス計画を作成している。またお子様や保護者の方のニーズに添った計画を作成するよう努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			個々の特性について情報共有して内部研修を行っている。個々人の日頃の成長を記録し状況を支援員間で共有し、支援に生かしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			各児童の特性に鑑み、支援員間で立案プログラムをを検討した上で計画を立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			基本となる課題提供はあるが、年齢や個々人の特性を考慮し、具体性を図り、固定化しないよう工夫している。季節やイベントに合わせたプログラムを作成し実行している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			特に長期学校休業日については、子供たちのニーズに合わせた課題提供をしている。主に子供の成長がみられる運動や音楽、和太鼓、造形等の支援をしている。普段の放課後等でできない外出等も計画している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			通常は個別対応しながら集団のなかで活動できるようプログラムを立て、実行している。長期休暇時は集団活動を組み入れる時期でもあるが、体調や天候変化によつての計画修正を行い臨機応変に対応している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		開始前には職員間で必ず活動内容、変更内容等のその日の流れ、変更事項等を確認し合い、支援に備えている。支援の内容については事前に共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		その日の出来事、ハプニング、利用者の体調、保護者からの連絡事項等を皆で発言し、内容の把握、確認をし、全員にわたるよう申し送りノートで共有をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日の全体の記録、個別記録を取っている。相談支援事業所や学校、保護者と連携をとり、記録した内容は閲覧し、支援に反映できるよう努めている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		相談支援事業所と連携をはかり、一定期間の成長における計画の見直しを判断してその都度、必要性を支援員間で認識している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		造形活動や生活能力の向上のための訓練、余暇活動等ガイドラインに書かれている基本を習得し、活動内容を職員間で共有し、支援につなげている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		会議には、サービス責任管理者、児童発達支援管理責任者及び児童指導員、保育士等が参画している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者、学校と連携し、学校だよりやナイスディニュースでも情報の共有をしている。特に下校時間の連絡は保護者と密にして、トラブルのないよう努めている。トラブル発生時は学校、保護者との連絡は適切に対応している。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は受け入れは考えていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		情報共有の必要性は互いに共有し相互理解に努めている。支援に必要な基礎情報等を共有している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	個人情報に繋がる場合もあるので慎重に対応したい。保護者様からの同意を得たうえで行うようにしたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門委員からの助言を得ている。専門機関との連携には、ニュース交換で情報を共有している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		現時点では定期的な交流は難しいが、過去にはイベント等に児童クラブの生徒さんを招待したり、地域のイベントに参加することがあった。公園や所外活動、文化センターの図書館、遊戯室に通うことで障害のない子どもと接したりする機会を作っている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		管理者、児童発達支援管理責任者、児童指導員が参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		支援記録(連絡ノート)に記載している。また、電話、対面により状況の共通理解を図れるよう努めている 主として帰りのお迎え時、その日にあったこと、心配な事、できた事など活動の様子を伝え合い共有している

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者の対応力に必要性があると認められた場合に専門支援員による支援を行っている。保護者様が気軽に話ができるよう関係性を構築し、支援につなげている。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始前、契約時に十分な説明をしている。内容変更については随時連絡をしている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		学校や医療機関に相談している保護者が多い。相談する機関が何処か分からない保護者に対しては、面談をして丁寧に必要な助言をし、関係機関と連絡を図っている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者同士の連携を図った会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から令和2年、3年と中止をした。新年度からは課題を提供し、希望を聞き、開催できるよう努力したい。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情解決マニュアルに沿って速やかに解決している。微妙な出来事については相互関係を理解し早急に対応し、改善策をたてる。良い関係を保つよう努力し、結果を報告するように対応をしている。契約時には苦情受付窓口等の説明をしている。(重要事項説明書)
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月カレンダーで活動内容を周知し、ナイスディニュースによって近況の活動内容、行事、連絡事項を知らせている。長期の学校休業日時は臨時会報で知らせている
	③5	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報のマニュアルに沿って取り扱いに注意している。鍵付きロッカーに保管し、管理している。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		電話や対面によって話し、連絡ノート、ナイスディニュースの発行により情報伝達の補完をしている。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		月間ニュース等を近隣地域町会等にお配りし啓発している。大きな行事の際は町内会役員に参加を呼びかけている。今年度においても新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。小さな行事は感染防止に留意し、事業所のみで開催であった。地域に理解していただくよう努力している。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルを活動ルームにファイリングして周知している。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的(各月に1回)避難訓練を行っている。全ての通所曜日を対象に行っていきたい。低学年生が多くなってきているので訓練は欠かせない。防災館で地震、火事等の体験訓練をさせている。(今年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止)
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修会を受講し、得た知識、技能を職員間で共有する。 ・トラブルが起きた場合は即、原因究明をする。 ・家庭ではどのように対応しているのか聞く。 ・事業所であらゆる場面についてシミュレーションをする必要がある。 ・その子の特性をよく理解し、場面を検証し、同じ行動が起きないよう支援員皆で話し合う。 ・サービス計画を見直し記載する。 ・チェックリストを支援員間で共有する。 ・保護者と連携し互いに信頼関係を結ぶことでトラブル解決に繋げる。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			当事者、相対する人物、物体に損害、損傷を与える危険性がある時各支援者会議をし、対処、理解、対策を共有する。 十分な保護者との話し合いで理解を深め、対応策を個別支援計画に反映していく。同意してもらう。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			安心サポートとして入所時に保護者からアレルギーの有無を聞いている。それは医師の診断に基づく指示書として読み替えている。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			小さな出来事を含め事例集を作成し、対応や問題点を記録し、それを共有することを、職員に周知徹底している。